

環境目標2030

「日清オイリオグループビジョン2030(以下:ビジョン2030)」では、「地球環境」「信頼でつながるサプライチェーン」を重点領域として掲げ、環境と持続可能性に関する共有価値の創造を目指しています。これまで大切にしてきた環境理念・環境方針と、新たに設定した重点領域の考え方を踏まえ、サステナビリティの実現に向けて具体的な取り組みとして「環境目標2030」を策定しました。目標の実現に向けてサステナビリティ活動を推進していきます。

テーマ	目標	2020年度実績	2030年度目標値
地球温暖化の防止	サプライチェーンの温室効果ガス排出を削減		
	・ Scope1、2におけるCO ₂ 排出量を削減する	△5.5% (2016年度比)	△31% (2016年度比)
	・ Scope3のCO ₂ 排出量を削減する		2021年度公開予定
	・ 環境教育を実施し、社員一人ひとりが事業活動を通じたCO ₂ 排出量削減を推進する		
	再生可能エネルギーの利用を推進		
	・ 堺工場における再生可能エネルギーの利用を促進する		100%
資源循環の構築	生産工程における再資源化の推進		
	・ 生産工程での再資源化率	99.7%	99%以上
	・ 食用油生産で発生する副産物を有効活用する		
	生産に利用する水資源の効率的活用		
	・ 生産活動における用水の原単位を削減する	△10.5% (2016年度比)	△16% (2016年度比)
植物資源／自然保全	持続可能な原料の調達を推進		
	持続可能なパーム油の調達を推進する ・ パーム油認証油割合を高める ・ RSPO認証油のSG比率を高める ・ 農園までのトレーサビリティを把握する体制を構築し、100%把握を目指す	46.9% (2020/1~12) 46.8% (2020/1~12)	100% 50% 2024年度パーム油 2030年度パーム核油
	・ 大豆の持続可能性を高める取り組みを推進する		
	・ 持続可能なカカオの調達を推進する		
	自然保全活動の推進		
	・ 植林などの推進		
環境にやさしい開発の推進	プラスチック容器・包装の削減と資源循環を推進		
	・ プラスチック使用量の削減につながる商品設計や新たな容器を開発する		
	・ リサイクルしやすい容器・技術の開発と社会におけるリサイクルの仕組みを整える		
	・ 資源循環が可能なリサイクル材や植物由来素材への代替を推進する		
	植物資源を活用した、環境にポジティブインパクトを与える商品・サービスの開発		
・ 食用・工業用領域での環境ポジティブインパクト商品・アプリケーションを開発する			